

令和5年度 デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）
事業実施結果報告

事業名	①里山をいかした子育て環境づくり、人づくり事業					
所管課	森と水政策課里山活用推進室					
交付金額	1,345,000 円（対象事業実績費：2,691,000 円）					
計画	<p>【里山保育実施業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認定こども園等 15 園を対象に計 70 回以上の里山保育を実施（市民団体「東近江さとやま Nannies」に委託） ・2名の指導者を育成 <p>【自然環境調査業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・里山保育の活動現場 3 箇所を植物を対象とした自然環境調査を実施 ・調査の方法や市民参画の在り方及び活用可能資源の抽出方法についてモデルケースとして検討 <p>【ブランディング業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・里山保育と自然環境調査を結びつけるブランディングのための計画に基づき、広報媒体を作成し、発信又は配布若しくはその両方を実施 					
重要評価指標 (KPI)	KPI① 市内在園5歳児園児数に対する里山保育実施割合(%)					
	KPI② 市内全園(27 園)に対する里山保育の1園当たり年間平均実施回数(回)					
	KPI③ 市民団体「東近江さとやま Nannies」の参加者数(人)					
	KPI④ 保育士等を目指す者のうち、里山保育等自然をいかした保育に関心を示す者の人数(人)					
	KPI	事業開始前	R3 実績値 (目標値)	R4 実績値 (目標値)	R5 実績値 (目標値)	最終目標値 (R6)
①	27%	30.84% (30%)	48.47% (40%)	63.72% (50%)	60%	
②	1.07 回	1.26 回 (1.11 回)	2.40 回 (2.37 回)	3.15 回 (2.96 回)	3.37 回	
③	18 人	23 人 (20 人)	25 人 (25 人)	28 人 (30 人)	35 人	
④	—	延べ 14 人 (延べ 2 人)	延べ 61 人 (延べ 12 人)	延べ 95 人 (延べ 22 人)	延べ 32 人	
実績						
<p>【里山保育実施業務】</p> <p>1 里山保育実施業務 委託料 2,412,000 円（率 1/2 1,206,000 円）</p> <p>(1) 本事業推進の上で核となる里山保育の課題</p> <p>里山保育は、認定こども園等の 5 歳児が、園の周辺の里山や水路などでの体験を通じて、身近な自然の楽しさに気づき、興味を持ってもらえるよう、取り組んできた事業である。</p> <p>平成 27 年度から徐々に実施園を増やし、本事業開始前の令和 2 年度には、市職員 2 名が 7 園を対象に実施するようになったが、2 名ではさらなる実施園の拡大が難しく、新たな人材の確保と育成が大きな課題であった。</p>						



(2) 交付金を活用した市民団体との協働

本交付金の活用により、幼児への自然体験活動に関心のあるメンバーで結成された市民団体「東近江さとやま Nannies」に、里山保育の実施と指導者の育成を業務委託することにより、着実に指導者の育成ができ、事業の拡大と継続につながっている。



令和5年度

- ・15園で実施（3園増）
- ・KPI① 5歳児 実施548人／在園840人
実施率63.7%（R5目標値50%）
- ・KPI② 実施回数 85回 3.15回／園
（R5目標値2.96回／園）
- ・KPI③ 東近江さとやま Nannies の参加者数（会員数）28名（3名増）
（R5目標値30名）

KPI①、②とも目標は達成できた。

KPI③は目標に達しなかったが、子どもたちへの自然体験活動の重要性に理解を持ち、活動に高い興味や関心を持つ人材が加わり、実施体制を強化することができた。また、同団体から延べ89人が参加し、事前の下見に延べ61人、プログラム作成に延べ64人、事後の通信作成に延べ76人が参加するなど、人材の育成と活動の広がりにつながった。さらに、実施園のうち4園においては、団体の指導者が主体的に里山保育の実施に当たることができた。

本市独自の里山保育の取組について、そのスキルを団体に伝え人材を育成することにより、本事業だけでなく、自然資源の保全と活用を実践する市民を増やすことにつながったと考える。

【保護者アンケートの声】

- ・里山保育で見聞きしたことを家族へフィードバックし、実施場所や近くの公園に足を運び、いろいろな昆虫や植物を観察することができました。
- ・貴重な機会であり、多くの園で里山保育を実施いただければ、次世代の人材育成にもつながると感じました。
- ・上の子も里山保育を経験しており、里山保育の後はいつても兄弟で楽しそうに会話する姿がありました。
- ・友達と一緒に里山に出かけて自然に親しむことで、やってみようという気持ちになりやすいのではないかと思います。
- ・家族の前では怖いと言って触らなかった虫に、里山保育で友達が触っていたからと自ら触ろうとする姿をみてすごいな！と感心しました。
- ・地域と自然に親しみ、慈しむ心を育てることは、子どもの心の安定と意欲を伸ばすことにつながると思います。



(3) 政策間連携の成果

KPI④保育士等を目指す者のうち、里山保育等自然をいかした保育に関心を示す者の人数は、

- ・身近な自然の価値を伝えたい環境政策
- ・幼児に自然体験活動の機会を増やしたい幼児政策
- ・自然をいかした魅力ある子育て環境を作ることで流出人口の抑制や移住者の増加を図りたい総合政策

を結び付けるもので、里山保育というツールを使って各政策が連携し、政策効果を高めていく視点で設定したものである。

K P I ④ 延べ 95 人

(R5 目標値 延べ 22 人)

内訳 (一部)

- ・保育士等を育成するびわこ学院大学の学生の里山保育への参加 5 名
- ・滋賀県立大学の学生 1 名が里山活用に関する調査研究のため、里山保育に参加
- ・保育士等を目指す学生向けに市が年 2 回開催する「保育の仕事就職フェア」において、里山保育を紹介するブースや里山保育の体験機会を設け、「里山保育に興味を持った」とアンケートで回答した回答者数 28 名



里山保育というテーマを通じて、保育環境をアピールし、保育士の確保につなげていく効果があったと考える。

【自然環境調査業務】

2 自然環境調査業務

委託料 135,000 円 (率 1/2 67,000 円)

(1) 調査のねらい

身近な自然にも触れるだけの価値があるということを知ってもらうため、里山保育の実施場所において、次の点に留意した調査を実施

- ・子どもたちが楽しめる植物がどれほどあるかという視点
- ・調査を専門家等に一任するのではなく、調査場所の自然環境をいかそうとする市民を巻き込みながら調査するという視点

令和 3 年度に決定した調査方法や市民参画の在り方を踏まえ、令和 5 年度は里山保育実施園のうち 3 箇所を対象として調査を実施し、その調査結果から活用可能資源を抽出した。

(2) 調査結果

令和 5 年度に実施した 3 箇所の調査結果は次のとおりである。

能登川おおぞら幼児園 (猪子山の参道から北向岩屋十一面観音)	種子植物 260 種	シダ植物 39 種	動物 1 種	合計 300 種
中野むくのき幼児園 (市福祉センターハートピア横の 50 年森)	種子植物 248 種	シダ植物 7 種	菌類 2 種	合計 257 種
びわこ学院大学附属こども園あつぷる (布施溜池周辺)	種子植物 269 種	シダ植物 23 種	菌類 2 種	合計 294 種

以上の調査結果の中から、子どもたちが楽しめる活用可能資源として 15 種類ずつ抽出した。

令和 3 年度からの調査結果については、里山保育の実施場所における里地里山の植物分布の特徴について「子どもたちが楽しめる活用可能資源」として報告書を取りまとめた。

(3) 調査の意義

調査は、調査のねらいに沿って、地元の植物に詳しい者に「東近江里山自然リサーチ」を設立いただき、メンバーに東近江さとやま Nannies も加わり、専門家 + 市民で調査に当たった。

一般的な調査が専門家だけで完結してしまうことに比べ、植物に詳しくない市民が子ども目線で調査に加わることで、自らの知識の蓄えに加えて、子どもたちが楽しめる植物がどれほどあるかという視点で調査を行うことにも寄与できた。



報告書は、令和5年度末に市内の幼稚園等へ提供するとともに、調査場所で里山保全活動を行う団体へも提供し、日々の保育や保全活動への活用を促している。また、里山保育だけではなく様々な分野に関わる内容であり、本市の自然環境や生物多様性の保全活用においても有益であったと考える。

【里山保育ブランディング業務】

3 里山保育ブランディング業務

委託料 144,000 円 (率 1/2 72,000 円)

(1) 業務のねらい

市内外の子育て世代に対して、東近江市に今後も住み続け、また移住等につながるよう、里山保育を活用したブランディングについて検討を行った。

(2) ブランディング

本市では、行政、市民、NPO団体等多くの人が参加し、本市を紹介する冊子「そこら」を発行している。これまで9号発行し、一定のファンがいる強みもあり、様々な可能性が広がる「そこら」に里山保育の特集記事を掲載した。

図書館を始め市内各所に配置するとともに、SNSでの発信や東京にある滋賀県アンテナショップ「ここしが」にも配置することにより、市内外の子育て世代に里山保育の魅力を伝え、東近江市では、子どもと自然のつながりを大切にしている姿勢や里山保育を体験できる環境であることをアピールすることができた。



今後の方針

令和5年度は、KPIの目標を概ね達成することができたことから、令和6年度は里山保育の実施及び指導者の育成について更なる拡大を目指し、積極的に取り組む。

- ・里山保育の実施園を新たに2園増やし17園で実施予定
- ・市内5歳児の7割に当たる626人(予定)が体験できる見込
- ・市民団体の指導者が主体的に実施する園の増により、自然環境の保全と活用を実践する市民の増とより多くの子どもたちが里山保育を体験できることを目指す。

自然環境調査は3箇所で行う予定であり、調査結果は園や関係団体と共有し、利活用を図る。

令和5年度 デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）
事業実施結果報告

事業名	②滋賀ならではの価値ある資源と観光を掛け合わせてつくる「シガリズム」推進プロジェクト					
所管課	森と水政策課、観光物産課、埋蔵文化財センター、公共交通政策課					
交付金額	4,802,730 円（対象事業実績費：9,605,461 円）					
計画	【地域資源の活用・異業種と観光の掛け合わせ】 ・地域の特長ある観光資源の磨き上げと発信 【データやデジタル技術の活用】 ・市内コミュニティバスへのバスロケーションシステム・AIカメラ導入					
重要評価指標(KPI)	KPI① 観光消費額(億円) KPI② シガリズム体験交流コンテンツの売上額(新たに構築する販売プラットフォームにおける売上額(百万円)) KPI③ 本事業で新たに創出された観光コンテンツ数(本) KPI④ 県外観光客リピーター率(%)					
	KPI	事業開始前(現時点)	R4 増加分(目標値)	R5 増加分	R6 増加分(目標値)	KPI 増加分の累計
	①	1,328 億円	189 億円(324 億円)	滋賀県及び7市町との広域連携事業のため、県において測定	(324 億円)	972 億円
	②	—	0.71 百万円(1 百万円)		(2 百万円)	6 百万円
	③	—	67 本(64 本)		(64 本)	(192 本)
④	64.8%	7.5%(2%)	(2%)		(6%)	
実績						
【地域資源の活用・異業種と観光の掛け合わせ】 1 森里川湖エコツーリズム推進事業 委託料 1,634,745 円（率 1/2 817,372 円） (1) エコツーリズムガイド養成 489,368 円 ・かけがえのない地域資源を有する鈴鹿 10 座のすばらしさを伝え、安全で楽しい登山やエコツーリズムを推進するガイドを養成することを目的とした「鈴鹿 10 座エコツーリズムガイド養成講座」を実施 15 名受講修了 ・既に認定登録しているエコツアーガイド（登録者 35 名）を対象にフォローアップ研修を実施 森里川湖エコツーリズムガイド対象：9 回 鈴鹿 10 座エコツーリズムガイド対象：9 回 (2) プロモーションバージョンアップ 931,892 円 ・エコツアー等の情報発信 情報紙「ヒガエコ」年 3 回発行 ・ガイド紹介のPV動画を作成し、ブログ等を通じエコツーリズムの取組を発信						



(3) エコツアー認定 181,029 円

- ・クオリティの高いエコツアーの仕組みづくりを推進するため、新たに運用開始した認定エコツアー制度に基づいて認定を実施

(4) 地域資源活用試行事業 32,456 円

- ・市内「森里川湖」に存在する地域資源を活用し、実施団体が自身でツアーを実施できるような内容となるよう協議会でモデルツアーを実施



2 観光戦略推進事業（短期滞在による外国人の市内周遊機会創出に係る調査）

委託料 2,000,000 円（率 1/2 1,000,000 円）

(1) 受入体制の構築

観光事業者を対象にインバウンドセミナーを実施

(2) 滞在型観光コンテンツやプランの企画造成

インバウンド誘客に向けた観光コンテンツの検討及びワークショップの実施

(3) モニターツアーの実施

インバウンド旅行商品の造成を行っているOTAを招請してモニターツアーを実施

(4) プロモーション活動の実施

ホームページやSNSを活用した広報活動及び商談会に参加

(5) 実態調査

市内宿泊施設、観光関連施設、医療機関等へのヒアリング及びアンケート調査



- ・観光事業者向けに開催したセミナーでは、インバウンドの受入意識の向上を図ることができた。
- ・モニターツアーでは、普段からインバウンド旅行者を受け入れしている有識者から様々な助言をいただき、本市ならではの魅力の再認識ができた。
- ・ヒアリング及びアンケート調査の実施により、コロナ禍で落ち込んでいたインバウンド旅行者数の回復及び本市への来訪目的を知ることができた。

3 五箇荘駅を起点とした五箇荘エリア周遊観光推進事業

委託料 2,000,000 円（率 1/2 1,000,000 円）

(1) 周遊マップの作成

令和4年度に作成した観光看板及び誘導看板を基にした周遊マップの作成

(2) モニターツアーの実施

国内旅行会社及び有識者を招請してモニターツアーを実施

五箇荘地区に点在する観光資源の磨き上げ及び来訪者への誘客促進を図るため、新たな周遊マップの作成と国内旅行会社を対象としたモニターツアーを実施した。

モニターツアーでは、地域団体の協力を得ながら魅力が詰まったツアー内容とすることができた。

ツアー後に実施した意見交換会では、様々な助言をいただき、地域ならではの魅力を再認識し、今後にかける機会となった。



4 飛び出し坊や発祥の地プロジェクト

委託料 2,000,000 円 (率 1/2 1,000,000 円)

(1) 生誕 50 周年イベントの開催

市内の大型商業店舗及び博物館で 50 年の歴史を振り返る展示イベントを実施

(2) 飛び出し坊や発祥の地に関する各種プロモーションの実施

Instagram でフォトコンテストを実施

(3) 映画『翔んで埼玉～琵琶湖より愛をこめて～』と

連動したオリジナル看板の製作及び啓発



飛び出し坊やは、滋賀県のご当地キャラクターとして全国的な人気が高いが、東近江市が発祥の地であるという認識が低いことから「東近江市発祥」であることと、令和5年で生誕 50 年を迎えることを広く周知するための広報宣伝を行った。

11 月に全国公開された映画『翔んで埼玉～琵琶湖より愛をこめて～』での登場も契機とし、更に全国的な知名度を高めた。

飛び出し坊やの 50 年の歩みを振り返る展示イベントでは、全国から多くの方が訪れ、好評をいただき、テレビや新聞等の各種メディアにも取り上げられ、東近江市発祥ということを広く PR できた。



5 古墳の魅力再発見事業

委託料 388,300 円 (率 1/2 194,150 円)

雪野山山頂に位置する史跡雪野山古墳をはじめとする市内古墳への来訪者を得るためのきっかけづくりに取り組んだ。

- ・雪野山古墳から出土した銅鏡をモチーフにした鑄造体験グッズを製作し、出土品の展示とあわせた鑄造体験講座を開催
- ・市内古墳のコレクション用カード (3 種) を製作し、来訪者等への配布と広報等で情報発信



【データやデジタル技術の活用】

バスロケーションシステム整備事業

委託料 1,582,416 円 (率 1/2 791,208 円)

Google だけでなく、令和5年12月からYahoo!路線検索においてもコミュニティバスの運行情報が検索可能となり、より多くの交通検索サイトにおいて、コミュニティバスを含む地域公共交通機関を一括して検索することが可能となった。

今後の方針

令和5年度は前年度に行った事業をいかしながら、モニターツアーの実施やプロモーション等を行うことで、各観光資源の更なる発信や環境整備を行った。

また、バスロケーションシステムにより市内交通機関の交通検索サイトへの掲載が容易になったことで、新たな検索サイトへの掲載を実現できた。

令和4年度、令和5年度の取組をいかしながら、多様な観光資源の磨き上げと東近江市の発信・観光誘客を強化していく。